



事故らず運用するための  
基本ルール大全

# IG Consolidation 運用の教科書



# 目次

<b>第1章   IG Consolidationとは何か</b>	<b>3</b>
1-1   IG Consolidationが狙っている相場	4
1-2   なぜ「この相場」だけを狙うのか	5
1-3   トレンド相場で使うと危険な理由	7
1-4   レンジ相場でも負ける人がいる理由	9
1-5   この章で伝えたかったこと	11
この章のまとめ	12
<b>第2章   IG Consolidation FREE版の構成と役割</b>	<b>14</b>
2-1   FREE版は「相場を整理する道具」	14
2-2   表示される要素の意味(考え方)	16
2-3   シグナルの種類と「優先度」	18
2-4   「出たから入る」が危険な理由	20
2-5   FREE版は「判断補助」である	21
2-6   FREE版の役割を超えてはいけない	23
この章のまとめ	25
<b>第3章   最初に必ず守る初期設定ルール</b>	<b>26</b>
3-1   時間足は「1時間足」に固定する	26
3-2   通貨ペアは「流動性重視」で選ぶ	28
3-3   初期ロットは「余裕がありすぎる」くらいでちょうどいい	30
3-4   設定を変えてはいけない理由	32
3-5   この章の考え方まとめ	34
<b>第4章   エントリー前チェックリスト</b>	<b>35</b>
4-1   今は「やる相場」か？	35
4-2   今は「やらない時間」ではないか？	37
4-3   レンジの「質」は悪くないか？	39
4-4   直近の値動きに引っ張られていないか？	41
4-5   最終チェック	43
4-6   このチェックリストの使い方	44
この章のまとめ	46
<b>第5章   FREE版で“負け始める人”の典型パターン</b>	<b>46</b>
5-1   シグナルが出るたびに反応してしまう	47
5-2   ダマシに耐えられなくなる	49
5-3   ロットを上げるタイミングが早すぎる	51
5-4   「今日は休む」という判断ができない	54
5-5   「自分だけは大丈夫」と思い始める	56
この章のまとめ	58
<b>第6章   「今日は触らない」を決めるルール</b>	<b>58</b>
6-1   触らない方がいい相場の特徴	59
6-2   連敗時の「強制ストップ」ルール	61
6-3   仕事・家庭がある人向けの運用時間設計	62
6-4   相場を見ない日を作る意味	65
6-5   この章の本当の目的	67

この章のまとめ	68
第7章   週1でやる最低限の振り返り方法	<b>69</b>
7-1   見る数字は「これだけ」	69
7-2   勝敗より見るべきポイント	71
7-3   記録を取らなくてもOKな理由	73
7-4   「順調かどうか」の判断基準	75
7-5   この章の本当の目的	76
この章のまとめ	78
第8章   FREE版の限界と次の選択肢	<b>79</b>
8-1   なぜFREE版では「判断」が残るのか	79
8-2   FREE版でブレやすくなる理由	80
選択肢①   ルールを完全に固定する	83
選択肢②   半自動にする	83
選択肢③   自動売買を使う	84
8-4   自動売買は「上位互換」ではない	85
8-5   どの段階で次に進むべきか	87
この章のまとめ	89
第9章   自動売買はどんな人向けか？	<b>89</b>
9-1   自動売買の本当の役割	89
9-2   自動売買が向いている人	90
向いている人	90
9-3   自動売買が向いていない人	90
9-4   裁量運用との違い	92
9-5   自動売買に進む前の最終チェック	94
この章のまとめ	95
最終章   この教科書を読み終えたあなたへ	<b>96</b>
FREE版で続けるという選択について	96
自動売買に進むという選択について	97
焦らないことが、一番の勝ち方	97
最後に	98

# 第1章 | IG Consolidationとは何か

IG Consolidationは、  
相場のすべてを取ろうとするインジケーターではありません。

最初に、この点をはっきりさせておきます。

IG Consolidationは

「勝ち続けるための道具」

ではなく

「壊れにくく運用するための道具」

です。

このことを理解した上で読み進めると  
スムーズに内容が入ってきます。

---

## 1-1 | IG Consolidationが狙っている相場

IG Consolidationが狙っているのは、  
明確なトレンドが出ていない相場です。

ここで言う

トレンドが出ていない相場とは、  
単に値動きが小さいという意味ではありません。

具体的には、

次のような状態を指します。

- 価格が一定の範囲内で動いている
- 高値や安値の更新が止まっている
- 上にも下にも、決定打となる動きが出ていない

こうした、  
方向感のない時間帯を前提としています。

---

このような相場では、  
多くのトレード手法が  
機能しにくくなります。

たとえば、

トレンドフォローでは、  
ブレイクしたように見えても、  
すぐに元の範囲へ戻されやすくなります。

感覚的なトレードでは、  
その場の値動きに引っ張られやすく、  
判断が一貫しなくなります。

---

つまり、  
動いていない相場ほど、  
人の判断がブレやすい状態  
だと言えます。

---

IG Consolidationは、  
このブレを  
人の感覚で抑えようとはしません。

代わりに、  
次のような考え方を採用しています。

- エントリーを一箇所に集中させない
- 価格の偏りを、複数回に分けて捉える
- 平均値として、状況を判断する

そのため、  
一回一回のエントリーに  
大きな意味を持たせる設計には  
なっていません。

---

当てに行くのではなく、  
偏りを淡々と拾っていく。

これが、  
IG Consolidationが  
この相場を狙う理由です。

---

## 1-2 | なぜ「この相場」だけを狙うのか

多くのトレード手法は、  
「動いている相場」を狙います。

- トレンドが出ている
- 勢いがある
- 一方向に伸びている

こうした相場は、  
うまく乗れば大きな利益につながります。

一方で、  
IG Consolidationは  
あえて動いていない相場を選びます。

理由は、とてもシンプルです。

- 動いていない時間の方が、相場全体では圧倒的に長い
- 判断を急がなくて済む
- 同じルールを繰り返し使いやすい

つまり、  
「当たり相場を探す」必要がありません。

相場ごとに  
戦い方を切り替えたり、  
今日は得意かどうかを悩んだりする必要がない。

これは、  
人が運用を続けるうえで  
非常に大きな意味を持ちます。

---

動いている相場では、  
どうしても感情が入りやすくなります。

- 乗り遅れたくない

- 今入らないと逃す気がする
- 少し逆行しただけで不安になる

こうした感情は、  
判断の一貫性を崩します。

IG Consolidationは、  
この「感情が入りやすい状態」を  
前提から避けています。

---

さらに重要なのが、  
ルールの再現性です。

動いていない相場を前提にすると、

- エントリー条件が安定しやすい
- 例外を作る必要が減る
- 過去と同じ判断を繰り返しやすい

という特徴があります。

つまり、  
再現性を最優先した設計  
ということです。

---

もちろん、  
この設計にはデメリットもあります。

- 一回の利益は大きくない
- 一気に増えることは期待できない
- 爆発力はない

しかしその代わりに、

大きな事故を起こしにくい

という明確な強みがあります。

IG Consolidationは、  
勝つために攻める設計ではありません。

続けるために、  
あらかじめ攻めない相場を決めている。

これが、  
この相場だけを狙う理由です。

---

### 1-3 | トレンド相場で使うと危険な理由

IG Consolidationは、  
トレンド相場では力を発揮しません。

むしろ、  
その状態で使い続けると  
危険な状況になりやすい  
という特徴があります。

これは、  
性能が足りないからでも、  
設計が甘いからでもありません。

前提としている相場が、  
まったく違うからです。

---

トレンド相場では、  
価格が一方向に進み続けます。

この状態でIG Consolidationを使うと、

- エントリーが一方向に偏る
- 価格が戻らないため、平均値が機能しなくなる
- 含み損が徐々に積み上がっていく

という流れになりやすくなります。

一回一回のエントリーは、  
ルール通りでも問題ありません。

しかし、  
相場そのものが戻らないため、

いつか戻るという前提が  
崩れてしまいます。

---

ここで重要なのは、  
これはインジケーターの欠陥ではない  
という点です。

IG Consolidationは、

- レンジ
- 方向感のない時間帯
- 価格が行き来する相場

を前提に設計されています。

トレンド相場は、  
そもそも対象外です。

前提外の相場で使えば、  
どんな手法でも  
無理が出ます。

---

トレンド相場で起きやすいのは、  
まだ戻るはずだという期待です。

- 少し逆行したら耐える
- 次のエントリーで平均が良くなる
- もう少し待てば戻る

こうした判断が重なり、  
気づいた時には  
ポジションが膨らんでいる。

この状態は、  
裁量でも自動でも  
非常に危険です。

---

この章で一番伝えたいのは、  
次の一点です。

IG Consolidationは、  
万能ではありません。

この時点で  
「万能ではない」と  
きちんと理解できるかどうか、  
その後の運用を大きく分けます。

使える相場を限定できる人ほど、  
長く運用を続けられる。

トレンド相場で  
無理に使わない。

これもまた、  
事故を防ぐための重要なルールです。

---

## 1-4 | レンジ相場でも負ける人がいる理由

レンジ相場であっても、  
すべての人が  
同じ結果になるわけではありません。

同じインジケータを使い、  
同じ相場を見ていても、  
結果にははっきりと差が出ます。

負け始める人には、  
いくつかの共通した特徴があります。

---

まず一つ目は、  
レンジの質を見ていないことです。

- 値幅が極端に狭い
- すぐに上下を抜ける
- 行き来しているように見えて、実際は偏っている

こうした相場でも、  
「レンジに見える」という理由だけで  
入ってしまう。

これは、  
相場の状態ではなく  
形だけを見て判断している状態です。

---

二つ目は、  
「出たから入る」を  
繰り返してしまうことです。

シグナルが出るたびに、

- 反射的に入る
- 前回の負けを取り返そうとする
- 条件の確認を省略する

こうした行動が重なると、  
エントリーの質は  
どんどん下がっていきます。

IG Consolidationは、  
シグナルが出たから入る  
という使い方を  
前提にしていません。

---

三つ目は、  
触らない判断ができないことです。

- 動いていないと不安になる
- 見ていると何かしたくなる
- 今日は休む、という選択ができない

この状態では、  
どれだけ相場がレンジでも  
結果は安定しません。

---

これらに共通しているのは、  
道具の思想を理解せずに  
使っているという点です。

IG Consolidationは、  
相場を自動で選別する道具ではありません。

- どの相場で使うか
- 今日は使う日なのか
- 使わない判断をするか

これらを決めるのは、  
常に人間側の役割です。

道具に任せきりにしないこと。

それが、  
レンジ相場でも  
負け始めるかどうかを  
分けるポイントになります。

---

## 1-5 | この章で伝えなかったこと

この章で理解してほしいのは、  
テクニックではありません。

エントリーの精度でも、  
設定の細かさでもありません。

まず共有しておきたいのは、  
次の前提です。

- 何を狙うための道具なのか
- 何を最初から捨てている道具なのか
- なぜ、人の判断が残る設計なのか

この前提を理解しないまま使うと、  
どれだけ正しいルールを守っていても、  
運用は途中で必ずズれていきます。

それは、  
使い方が間違っているのではなく、  
考え方が噛み合っていない  
という状態です。

---

IG Consolidationは、  
すべての相場で使えるように  
作られた道具ではありません。

むしろ、

- 使う相場を限定し
- やらない相場を明確にし
- 人の判断を完全には排除しない

という、  
少し不親切とも言える設計になっています。

しかし、  
この不親切さこそが、  
長く続けるための前提です。

---

## この章のまとめ

ここまでの内容を、  
あらためて整理します。

- IG Consolidationはレンジ前提
- 動かない相手を平均で捉える設計
- トレンド相場では使わない
- 万能ではないことが最大の強み

この道具は、  
相手を当てに行くためのものではありません。

壊れにくく、  
無理をしない状態を  
作り続けるための設計

それが、  
IG Consolidationの思想です。

---

この思想に共感できるかどうかで、  
この先の運用は大きく変わります。

もし、

- もっと当てたい
- もっと攻めたい
- 判断を減らしたい

そう感じた場合は、  
この章の時点で  
立ち止まる判断も正解です。

この教科書は、  
無理に先へ進ませるためのものではありません。

合わないと感じることも、  
立派な成果だからです。

# 第2章 | IG Consolidation FREE版の構成と役割

この章では、  
IG Consolidation FREE版が

「何をしている道具なのか」

を整理します。

ここで重要なのは、  
何が表示されているかよりも、  
それをどう受け取るべきかです。

---

## 2-1 | FREE版は「相場を整理する道具」

IG Consolidation FREE版は、  
エントリーを指示するボタンではありません。

また、  
売買判断を自動で下してくれる  
道具でもありません。

FREE版の役割は、  
もっと限定されたものです。

それは、  
相場の状態を整理して見せること  
です。

---

相場を見ていると、

- 今はどの範囲で動いているのか
- 価格がどちらかに偏っているのか
- 平均に対して、今は高いのか低いのか

こうした情報を、  
その都度頭の中で整理する必要があります。

FREE版は、  
この整理を  
感覚ではなく  
一定の基準で行うための  
補助として作られています。

---

具体的には、

- 現在の価格帯が、どの範囲に収まっているのか
- 一時的に偏っているのか、それとも行き来しているのか
- 平均と比べて、どの位置にいるのか

こうした状態を、  
視覚的に分かりやすく示します。

重要なのは、  
「どうするか」を決めることではありません。

- 今、相場がどんな状態なのか
- 判断する前提がどうなっているのか

これを揃えることが、  
FREE版の役割です。

---

そのため、  
FREE版を見ているだけでは、

- 入るべきか
- 待つべきか
- 今日は触らないか

といった最終判断は  
残ります。

IG Consolidation FREE版は、  
相場を自動で選別する道具ではなく、  
相場を理解しやすくするための道具です。

この違いを理解しているかどうか、  
その後の運用を  
大きく分けることになります。

---

## 2-2 | 表示される要素の意味(考え方)

FREE版には、  
複数の表示要素があります。

ラインや色、  
シグナルのような表示が  
同時に出ているため、  
最初は情報が多く感じるかもしれません。

ただし、  
それぞれを個別に覚えたり、  
一つずつ攻略しようとする必要はありません。

---

重要なのは、  
これらすべてが  
同じ思想に基づいて作られている  
という点です。

FREE版の表示要素は、

- 価格がどちらかに偏っていないか
- 一方向に動きすぎていないか
- 平均から大きく離れていないか

こうした状態を、  
別々の角度から  
確認しているだけです。

表示が複数あるのは、  
複雑に見せるためではありません。

同じ状態を、  
一つの見方だけに頼らず  
確認できるようにしている、  
という設計です。

---

ここで持ってほしい視点は、  
とてもシンプルです。

今は、  
平均に戻りやすい状態かどうか。

この問いを、  
常に頭の中に置いてください。

- 戻りやすい状態なのか
- それとも、戻りにくい流れなのか

FREE版は、  
その判断材料を  
視覚的に整理して提示しているだけです。

---

そのため、

- どの表示が一番大事か
- どれが当たりで、どれが外れか

といった考え方は、  
このインジケーターには  
あまり意味がありません。

表示を見て  
即座に行動するのではなく、

- いくつかの表示が、同じ方向を示しているか
- 偏りが重なっていないか

こうした確認を通して、  
相場の状態を  
落ち着いて把握することが目的です。

---

FREE版は、  
売買を決断させる道具ではありません。

相場を  
「やるべきか、やらないべきか」  
考えるための材料を  
揃える道具です。

この考え方を共有できていれば、  
表示が増えても  
判断がブレにくくなります。

---

## 2-3 | シグナルの種類と「優先度」

FREE版には、  
いくつかのシグナルが表示されます。

位置やタイミングによって、  
異なる形で出てくるため、  
最初は気になるかもしれません。

ただし、  
ここで大切なのは、  
シグナルの種類を覚えることではありません。

---

まず前提として、  
次の考え方を持ってください。

- シグナルは「可能性」を示すだけ
- 強制力はない
- すべて同じ重さではない

FREE版のシグナルは、  
売買を指示するものではありません。

シグナルが出たからといって、  
必ず入る必要はありませんし、  
入らなかったからといって  
間違いでもありません。

---

シグナルが示しているのは、  
「ここは一度、考えてもいい位置かもしれない」  
というサインです。

- 相場の状態はどうか
- レンジの質は悪くないか
- 今日はやる日なのか

こうした前提を確認したうえで、  
初めて意味を持ちます。

前提を無視して  
シグナルだけを追いかけると、  
判断はすぐにブレます。

---

また、  
すべてのシグナルが  
同じ重さで設計されているわけではありません。

- 状況によっては参考程度のもの
- 他の条件が揃って初めて意味を持つもの

こうした違いがあります。

そのため、

- シグナルが多く出ている
- 連続して表示されている

といった理由だけで、  
エントリーを重ねるのは  
危険な使い方になります。

---

FREE版のシグナルは、  
入るための合図ではありません。

考えるためのきっかけです。

この距離感を保てるかどうか、  
FREE版を  
安全に使い続けられるかどうかを  
大きく左右します。

---

## 2-4 | 「出たから入る」が危険な理由

FREE版を使い始めた人が、  
最初にやりがちなミスがあります。

それが、  
「シグナルが出たから入る」  
という行動です。

表示が分かりやすい分、  
反射的に反応してしまうことは  
珍しくありません。

---

しかし、  
ここまでの章で整理してきた通り、  
FREE版には  
判断しない領域があります。

- 使っていい相場かどうか
- 使ってはいけない時間帯かどうか
- 今日は触らない方がいい日かどうか

FREE版は、  
これらを自動で判断しません。

相場の状態を  
整理して見せることはしますが、  
最終的な判断は  
常に人間側に残されています。

---

そのため、  
シグナルだけを根拠にしたエントリーは、

前提条件を確認しないまま  
行動している状態になります。

- 相場の質を見ていない
- 時間帯を考慮していない
- 自分の状態を確認していない

こうした要素を飛ばして  
エントリーを重ねると、  
結果は不安定になります。

---

シグナルは、  
入る理由を与えるものではありません。

考えるきっかけを  
与えているだけです。

- 今は本当にやる相場なのか
- 今日はやる日なのか
- 見送る選択肢はないか

こうした確認を挟んでこそ、  
初めて意味を持ちます。

---

FREE版は、  
判断を省略するための道具ではありません。

判断の質を揃えるための道具です。

この違いを理解できていないと、  
どれだけシグナルが正しく表示されていても、  
運用は安定しません。

---

## 2-5 | FREE版は「判断補助」である

ここまでの内容をまとめると、  
IG Consolidation FREE版の立ち位置は  
非常にシンプルです。

FREE版が行っているのは、

- 相場の状態を整理する
- 価格の偏りを見せる
- 判断に必要な材料を増やす

という役割までです。

---

その先にある  
「入るか」「見送るか」  
という最終判断は、  
常に人間側に残ります。

これは、  
FREE版の欠点ではありません。

むしろ、  
FREE版が  
教育・理解・整理のために  
作られていることの  
はっきりした証拠です。

---

もしFREE版が、

- 使う相場を自動で選び
- 危険な時間帯をすべて避け
- 入る・入らないを決めてしまう

そんな道具であれば、  
使う側は  
「なぜそうなったのか」を  
理解する必要がなくなります。

それは、  
短期的には楽かもしれませんが、

長く続けるうえでは  
大きな不安定さを生みます。

---

FREE版は、  
あえて判断を残す設計になっています。

- 相場をどう捉えるか
- 今日はやる日なのか
- 見送る判断は正しいか

こうした思考を通して、  
相場との距離感を  
自分の中に作るためです。

---

この章で理解してほしいのは、  
FREE版は  
「判断を代わりにしてくれる道具」ではなく、  
「判断を考えるための道具」  
だという点です。

この前提を共有できていれば、  
FREE版は  
非常に安全で、  
長く使える存在になります。

---

第2章は、  
FREE版をどう使うかではなく、  
どう受け取るかを整理する章でした。

この理解があることで、  
次に進む  
チェックリストや  
触らないルールが、  
単なる制限ではなく  
意味のある判断基準として  
機能し始めます。

---

## 2-6 | FREE版の役割を超えてはいけない

FREE版は、  
決められた役割の範囲で使っている限り、  
安定した補助として機能します。

しかし、  
その役割を超えて使い始めると、  
運用は途端にブレ始めます。

---

特に起きやすいのが、  
次のような使い方です。

- すべてをFREE版に任せようとする
- 判断そのものを放棄する
- 思った結果にならなかった時、シグナルに責任を押し付ける

この状態になると、  
相場を見ているようで、  
実際には  
自分の判断をしていない状態になります。

---

こうした使い方は、  
第5章で整理した  
負け始める人の典型パターン  
にそのまま直結します。

- 出たから入る
- 負けた理由を外に求める
- 振り返りができなくなる

これらはすべて、  
FREE版の役割を超えた期待を  
持ってしまった結果です。

---

FREE版は、  
人の判断を完全に置き換える道具ではありません。

むしろ、  
判断を減らしすぎないための  
補助として設計されています。

例えるなら、  
FREE版は  
自転車の補助輪のような存在です。

- バランスを取る手助けはする
- 方向を決めるのは本人
- どこへ進むかまでは決めてくれない

この距離感で使うことが、  
最も安全です。

---

FREE版に  
過剰な期待をしないこと。

判断を  
すべて委ねようとしないこと。

この意識を持っているだけで、  
運用のブレは  
大きく減らすことができます。

---

## この章のまとめ

- FREE版は相場整理ツール
- シグナルは命令ではない
- 出たから入るは危険
- 判断は必ず人が行う

「FREE版は、  
判断をなくす道具ではなく、  
判断を整理する道具」

これが、  
IG Consolidation FREE版の役割です。

## 第3章 | 最初に必ず守る初期設定ルール

この章では、  
IG Consolidation FREE版を使う上で、  
最初に必ず固定しておくべき設定ルールを整理します。

ここで紹介する内容は、  
運用を工夫するためのテクニックではありません。

「この前提を守らないと、  
そもそもロジックが成立しなくなる」

という、最低限の土台です。

---

### 3-1 | 時間足は「1時間足」に固定する

IG Consolidationは、  
1時間足を前提に設計されたインジケータです。

これは推奨というより、  
設計上の前提です。

動画内でも一貫して、  
デイトレード、スイングトレード、資産構築トレードの  
すべてにおいて、  
1時間足を使用する前提で解説されています。

どの運用スタイルであっても、  
時間足だけは変えない。

これが、  
IG Consolidationを使ううえでの  
基本ルールになります。

---

なぜ1時間足なのか。

理由はいくつかあります。

まず、  
値幅が比較的安定していることです。

1時間足は、

- 極端に細かいノイズが少なく

- 一定の値動きが出やすい

という特徴があります。

これにより、  
平均値を基準に考える  
IG Consolidationの思想と  
相性が良くなっています。

---

次に、  
手数料やスプレッドの影響を  
受けにくい点です。

短い時間足になるほど、

- エントリー回数が増える
- その分、スプレッド負担が積み重なる

という問題が出てきます。

1時間足では、  
エントリー回数が  
過度に増えにくいため、  
余計なコストを抑えやすくなります。

---

もう一つ重要なのが、  
シグナル数が  
極端に増えないという点です。

IG Consolidationは、  
頻繁に売買することを  
目的としたインジケータではありません。

1時間足を使うことで、

- シグナルの数が適切に抑えられ
- 一つ一つの判断に余裕が生まれる

という状態を作りやすくなります。

---

5分足や15分足でも、  
理論上はシグナルが出ます。

しかし、  
その場合は次のような問題が起きやすくなります。

- エントリー回数が増えすぎる
- スプレッド負担が大きくなる
- ロジックの前提が崩れる

これは、  
設定の問題ではなく、  
使い方が前提から外れている  
という状態です。

---

最初は、  
必ず1時間足に固定してください。

慣れていない段階で  
時間足を変えると、  
うまくいかなかった理由が  
分からなくなります。

1時間足で  
落ち着いて運用できているかどうか。

それを確認することが、  
次の段階へ進むための  
土台になります。

---

## 3-2 | 通貨ペアは「流動性重視」で選ぶ

IG Consolidationは、  
シグナル回数を重ねながら  
平均値を捉えていく設計です。

そのため、  
一回一回の値動きの大きさよりも、  
安定して行き来するかどうか  
という点が重要になります。

---

このロジックにおいて、  
極端に動きが荒い通貨や、  
流動性の低い通貨ペアは  
あまり向いていません。

理由はシンプルです。

- 値動きに急な偏りが出やすい
- スプレッドが時間帯によって大きく変わる
- 一度動くと、なかなか戻らない

こうした特徴は、  
平均値を基準に考える  
IG Consolidationの思想と  
噛み合いにくくなります。

---

通貨ペアを選ぶ際の  
基本方針は次の通りです。

- スプレッドが比較的安定している通貨
- 値動きに強いクセが出にくい通貨

派手さよりも、  
扱いやすさを優先します。

---

よくある勘違いが、  
「動きが激しいから稼げそう」  
という理由で  
通貨を選んでしまうことです。

この考え方は、  
トレンドを狙う手法では  
有効な場合もあります。

しかし、  
IG Consolidationでは  
逆効果になることがほとんどです。

- 動きが荒いほど偏りが大きくなりやすい
  - 想定外の方向に進み続けるリスクが増える
  - 含み損を抱える時間が長くなりやすい
- 

IG Consolidationは、  
一時的な大きな動きを  
狙うロジックではありません。

- 戻りやすい
- 行き来しやすい
- 落ち着いた動き

こうした相場を  
前提にしています。

通貨ペア選びの段階で  
無理をしないこと。

それだけで、  
運用全体の安定感は  
大きく変わります。

---

### 3-3 | 初期ロットは「余裕がありすぎる」くらいでちょうどいい

IG Consolidationでは、  
複数のポジションを  
同時に保有する前提があります。

そのため、  
一回のエントリーに  
余裕がないロット設定をしてしまうと、  
想定以上に負担が大きくなります。

---

動画内でも一貫して、  
資金に対して

かなり控えめなロット設定が  
例として示されています。

これは、  
慎重すぎるからではありません。

このロジックにおいて、  
それが最も現実的だからです。

---

動画内の目安は、  
次のような基準になっています。

- 資金10万円の場合は、0.01ロット
- 資金20万円以上でも、0.01ロットを維持
- 資金100万円の場合でも、0.1ロット程度

ここで重要なのは、  
資金が増えたからといって  
すぐにロットを上げない  
という点です。

---

IG Consolidationでは、  
最大ロットを使えるかどうかよりも、  
継続できるロットかどうか  
が何よりも重要になります。

- 含み損を見ても焦らない
- ポジションが増えても落ち着いていられる
- 無理に早く終わらせようとしない

こうした状態を  
保てるかどうか、  
結果に直結します。

---

含み損が出た瞬間に、

- 早く戻ってほしい

- これ以上は耐えられない
- ロットを下げるべきだったかもしれない

と感じてしまう場合、  
そのロットは  
今の自分にとって  
適切ではありません。

IG Consolidationは、  
感情を抑え込んで使う道具ではなく、  
感情が出にくい状態を  
最初から作るための設計です。

---

そのため、  
初期ロットは  
「少なすぎるかもしれない」  
と感ずるくらいで  
ちょうどいい。

余裕がありすぎるロット設定こそが、  
このロジックでは  
最も正しいスタートになります。

---

### 3-4 | 設定を変えてはいけない理由

IG Consolidationを使い始めた人が、  
最もやりがちなミスがあります。

それが、  
「少し良くしようとして、設定をいじること」  
です。

結果が出ていない時だけでなく、  
むしろ  
少しうまくいっていないと感じた時ほど、  
この行動は起きやすくなります。

---

しかし、  
IG Consolidationのロジックは、

部分的に切り取って  
調整できるものではありません。

このインジケーターは、

- シグナルの回数
- エントリーの頻度
- 平均値を積み上げていく流れ

これらのバランスによって  
成立しています。

どれか一つだけを変えると、  
全体の前提が  
簡単に崩れてしまいます。

---

特に、  
次のような変更は  
やってはいけません。

- シグナルを間引く
- 時間足を途中で変える
- ロットを大きく変更する

これらは、  
「リスクを下げているつもり」で  
行われがちですが、  
実際には  
ロジックそのものを  
別物にしてしまいます。

---

バックテストで確認されていた  
統計的な優位性は、  
特定の条件が  
揃っていることを前提にしています。

設定を変えるということは、  
その前提を  
自分の判断で外すことと  
同じです。

それでは、

- なぜ結果が出なかったのか
- どこが悪かったのか

を後から検証することも  
できなくなります。

---

最初の段階で  
最も大切なのは、  
改善ではありません。

検証です。

- この設定のまま続けたらどうなるのか
- 自分の行動はルール通りだったか

これを確認することが、  
次の判断につながります。

---

そのため、  
最初の段階では  
設定を信じて、触らない。

これが、  
IG Consolidationを  
正しく理解するための  
唯一の正解です。

---

### 3-5 | この章の考え方まとめ

- 時間足は1時間足に固定
- 通貨ペアは安定重視
- ロットは余裕を最優先
- 設定はいじらない

これらはすべて、

「勝つため」ではなく  
「壊さないため」

のルールです。

## 第4章 | エントリー前チェックリスト

この章は、  
**IG Consolidation FREE**版を使う上で、最も重要な章です。

このチェックリストを通さずにエントリーする場合、  
それは「運用」ではなく  
ただの感覚トレードになります。

IG Consolidationは  
「シグナルを出す道具」ではありますが、  
入るかどうかを決める道具ではありません。

その判断を補うために、  
このチェックリストを必ず使ってください。

---

### 4-1 | 今は「やる相場」か？

まず最初に確認するのは、  
今の相場が  
IG Consolidationが想定している相場かどうか  
という点です。

ここを確認せずに進むと、  
その後のチェックが  
すべて意味を持たなくなります。

---

以下に一つでも当てはまる場合、  
その相場は  
エントリーを見送ります。

チェック項目は、  
とてもシンプルです。

- 大きなトレンドがすでに発生している

- 高値・安値を更新し続けている
- 値幅が一方に偏っている
- 明らかにレンジを抜けて走っている

これらはすべて、  
IG Consolidationが  
前提としていない相場です。

---

IG Consolidationは、  
動いていない相場を  
平均で捉えるための  
インジケーターです。

価格が  
一方向に進み始めている時点で、  
役割から外れています。

---

ここで迷いやすいのが、  
「まだ戻るかもしれない」  
という判断です。

しかし、

今、動いているかどうか  
で迷った時点で、  
その相場は  
やらない相場です。

---

このチェックは、  
精度を上げるためのものではありません。

事故を防ぐためのものです。

- 少しでも違和感がある
- 判断に時間がかかる
- 無理に理由を探している

こうした状態になったら、  
その相場は  
最初から触らない。

これが、  
IG Consolidationを  
安全に使い続けるための  
最初の判断基準になります。

---

## 4-2 | 今は「やらない時間」ではないか？

相場がレンジであっても、  
時間帯によっては  
やらない方がいい場面があります。

相場の形だけを見て  
判断してしまうと、  
時間帯によるリスクを  
見落としやすくなります。

---

以下に当てはまる場合は、  
その日は  
触らない判断を優先します。

チェック項目は、  
次の通りです。

- 経済指標の直前、または直後
- 明らかに値動きが荒れている時間帯
- スプレッドが不自然に広がっている
- 自分が相場を集中して見られない時間

これらは、  
相場の質とは関係なく  
不安定さが増す条件です。

---

特に、  
経済指標の前後では、

- 一時的に大きく動く
- 普段の値動きと性質が変わる
- 平均に戻る前提が崩れやすい

といった状態になりやすくなります。

IG Consolidationは、  
こうした場面  
狙う設計にはなっていません。

---

また、  
相場側の条件だけでなく、  
自分自身の状態も  
重要な判断材料になります。

- 今日は忙しい
- 疲れている
- 片手間でしか見られない

こうした状態の日は、  
それだけで  
やらない理由として十分です。

---

IG Consolidationは、  
集中して相場を見続けることを  
前提としたロジックではありません。

だからこそ、  
無理をして  
触る必要もありません。

---

このチェックは、  
チャンスを逃さないためのものではなく、  
事故を防ぐためのものです。

相場がレンジであっても、  
時間帯や自分の状態が  
噛み合っていないければ、  
その日はやらない。

この判断を  
自然にできるようになることが、  
安定した運用につながります。

---

### 4-3 | レンジの「質」は悪くないか？

同じレンジ相場であっても、  
すべてが  
IG Consolidationに向いているわけではありません。

レンジには、  
比較的扱いやすいものと、  
避けた方がいいものがあります。

ここでは、  
後者を見分けるための  
チェックを行います。

---

危険なレンジには、  
いくつか共通した特徴があります。

- レンジ幅が極端に狭い
- 直近で何度もダマシが出ている
- 上下にヒゲが頻発している
- レンジの上下がはっきりしない

これらが重なっている場合、  
相場は落ち着いているように見えて、  
実際には  
方向感が定まっていない状態です。

---

特に注意したいのが、レンジ幅の狭さです。

値幅が小さすぎると、

- わずかな動きで反応してしまう
- 平均を基準に考えづらくなる
- エントリーと同時に逆行しやすくなる

といった問題が起きやすくなります。

---

また、

上下にヒゲが頻発しているレンジは、参加者の意図が噛み合っていない状態です。

- 押し戻される
- すぐに否定される
- どちらにも偏りきらない

こうした相場では、平均に戻る前提が安定しません。

---

レンジの上下がはっきりしない場合も、注意が必要です。

どこが上限で、どこが下限なのかが曖昧な相場では、判断の基準が毎回変わってしまいます。

---

レンジの形が曖昧な場合、IG Consolidationは誤反応しやすくなります。

これは、  
インジケーターの問題ではなく、  
相場の質が  
前提から外れているだけです。

---

このチェックで  
少しでも迷いが出た場合は、  
そのレンジは  
やらないレンジです。

無理に理由を探さず、  
見送る判断を  
優先してください。

---

## 4-4 | 直近の値動きに引っ張られていないか？

エントリー直前に、  
最も起きやすいミスが  
この項目です。

相場そのものではなく、  
直近の結果や値動きに  
判断を引っ張られてしまう状態です。

---

よくある状態には、  
次のようなものがあります。

- 直前で連勝している
- 直前で連敗している
- 今度こそ取り返したいと感じている
- シグナルが出た瞬間に反射的に入ろうとしている

これらはすべて、  
相場の状態ではなく、  
自分の感情が判断の中心に  
なっているサインです。

---

特に注意したいのは、  
連勝や連敗の直後です。

連勝していると、

- 今のやり方は合っている
- この流れに乗りたい

という気持ちが強くなり、  
確認が雑になりがちです。

一方で、  
連敗していると、

- 早く取り返したい
- 次は当たる気がする

という感情が入り、  
本来なら見送る場面でも  
入ってしまいます。

---

この状態でのエントリーは、  
インジケーターを使っているようで、  
実際には  
感情で判断している状態です。

どれだけ  
条件が揃っているように見えても、  
判断の軸が  
相場ではなくなっています。

---

このチェックで  
少しでも引かかる場合は、  
そのエントリーは  
見送るのが正解です。

直近の結果と、  
これからの相場には  
何の関係もありません。

---

IG Consolidationは、  
感情を乗せて使う道具ではなく、  
感情が入りにくい状態を  
作るための設計です。

感情に気づいた時点で、  
一度立ち止まる。

それが、  
このロジックを  
壊さずに使い続けるための  
最後のチェックになります。

---

## 4-5 | 最終チェック

最後に、  
必ず自分に  
一つの質問を投げてください。

今、このエントリーを  
見送っても後悔しないか

この問いに、  
即答できない場合は、  
その時点で  
見送る判断が正解です。

---

次のような状態が、  
一つでも当てはまる場合は、  
今日は  
見送る日になります。

- 少しでも迷いがある
- 入らない理由を言語化できない
- 焦っている自覚がある

これらはすべて、  
相場ではなく

自分の状態に  
問題があるサインです。

---

ここで大切なのは、  
見送る判断は  
失敗ではない  
ということです。

むしろ、

- 無理なエントリーをしなかった
- 前提を守れた
- ルールを優先できた

という意味で、  
正しい判断です。

---

IG Consolidationは、  
チャンスを逃さないための  
道具ではありません。

壊れない運用を  
続けるための  
設計です。

---

そのため、  
迷いが残るエントリーは、  
すべて見送る。

これが、  
第4章のチェックリストを  
最後まで通した人にだけ  
許される判断になります。

---

## 4-6 | このチェックリストの使い方

このチェックリストは、  
エントリーを判断するための  
条件表ではありません。

エントリーを  
止めるための基準です。

---

使い方は、とてもシンプルです。

- エントリー前に、必ず目を通す
- すべて問題がなくても、入らない判断をしていい
- チェックを通らなかった日は、負けではない

この3つだけを  
守ってください。

---

特に大切なのは、  
「すべてOKでも入らなくていい」  
という考え方です。

条件が揃ったからといって、  
必ず行動しなければならない  
わけではありません。

迷いが残るなら、  
その時点で  
見送る判断が正解です。

---

また、  
チェックを通らなかった日を  
「機会損失」や  
「負け」と捉える必要はありません。

むしろ、

- 前提を守れた
- 無理な判断をしなかった
- 事故を回避できた

という意味で、  
その日は  
成功した日です。

---

IG Consolidationの運用で、  
最も大切なのは、

入らない判断を、  
正解として受け入れること。

この感覚を  
自分の中に定着させることが、  
安定した運用につながります。

---

このチェックリストは、  
毎回完璧に使う必要はありません。

ただ、  
迷った時に  
立ち戻れる場所として  
持っておいてください。

---

## この章のまとめ

- シグナル＝エントリーではない
- 迷った時点で、その相場はやらない
- 触らない日を作れる人が、長く残る

この章を守るだけで、  
大きな事故はほぼ防げます。

# 第5章 | FREE版で“負け始める人”の典型パターン

IG Consolidation FREE版は、  
正しく使えば 事故を大きく減らせるインジケーターです。

それでも途中から  
「勝てなくなった」  
「不安が増えた」  
と感じる人が出てきます。

その原因は、  
相場が急に変わったからでも、  
インジケーターが悪くなったからでもありません。

使い方が、少しずつズレているだけです。

この章では、  
FREE版で負け始める人に共通する  
典型的なパターンを整理します。

---

## 5-1 | シグナルが出るたびに反応してしまう

最も多い失敗が、  
このパターンです。

- シグナルが出た
- 条件を確認せずに入る
- とりあえずエントリーする

一看すると、  
動画で説明されていた通り  
すべてのシグナルに  
反応しているように見えます。

---

しかし、  
この行動は  
IG Consolidationの使い方としては  
まったく別物です。

なぜなら、  
第4章で整理した  
チェックリストを  
通していないからです。

相場の前提、  
時間帯、  
レンジの質、  
自分の状態。

これらを確認せずに行うエントリーは、  
同じシグナルであっても  
意味が変わってしまいます。

---

IG Consolidationは、  
「出たら入る」ための道具ではありません。

シグナルは、  
考えてもいい位置を  
示しているだけです。

チェックを通していない状態での  
エントリーは、

- 相場の前提を無視している
- 判断を省略している
- 感情に引っ張られている

可能性が高くなります。

---

ここで重要なのは、  
そのエントリーは  
統計の一部にならない  
という意識を持つことです。

IG Consolidationのロジックは、  
一定の前提条件を  
守ったうえで  
積み重ねていくことで  
意味を持ちます。

前提を外したエントリーは、  
たとえ結果が良くても、  
検証の対象になりません。

---

シグナルに反応するのではなく、  
前提を確認する。

この順番を  
毎回守れるかどうか、  
負け始めるかどうかを  
大きく分けます。

---

## 5-2 | ダマシに耐えられなくなる

FREE版を使っていると、  
ダマシは必ず発生します。

これは例外ではなく、  
このロジックの前提条件です。

ダマシを  
完全に避けることはできませんし、  
避けようとするほど  
使い方は歪んでいきます。

---

負け始める人は、  
このダマシに対して  
次のような行動を取りがちです。

- 早めに損切りしてしまう
- 次に出たシグナルを無視する
- ロジックそのものを疑い始める

一つ一つは、  
冷静な判断のように見えるかもしれませんが。

しかし、  
これらが重なった瞬間、  
運用の前提は崩れます。

---

IG Consolidationは、  
一回一回の結果を  
当てに行くロジックではありません。

- 複数のエントリーを重ね
- 偏りを平均で捉え
- 結果を積み上げていく

という設計です。

そのため、  
途中で耐えられなくなった瞬間、  
それまで積み上げていた  
前提条件がすべて崩れます。

---

特に危険なのが、  
ダマシを「失敗」と  
捉えてしまうことです。

ダマシは、  
このロジックにおいて  
失敗ではありません。

想定された範囲内の  
出来事です。

---

ここで重要なのは、  
耐えること自体が  
目的ではないという点です。

- 前提を守ったまま
- ロットを崩さず
- ルールを変えず

この状態で  
淡々と続けられるかどうか。

それが、  
このロジックを  
成立させる条件になります。

---

ダマシに耐えられなくなった時点で、  
問題なのは  
相場でもインジケーターでもありません。

- ロットが大きすぎる
- 前提を理解しきれていない
- 判断を感情に委ねている

いずれかです。

---

ダマシは避けるものではなく、  
前提として受け入れるもの。

この理解ができるかどうかで、  
その後の運用は  
大きく分かります。

---

### 5-3 | ロットを上げるタイミングが早すぎる

少し調子が良くなってきた時に、  
次に起きやすいのが  
このパターンです。

- もう少し効率を上げたい
- このくらいなら大丈夫そう
- 今の相場は合っている気がする

こうした感覚が出てきた時、  
多くの方は  
ロットを上げること考え始めます。

---

しかし、  
この判断は  
非常に危険です。

なぜなら、  
この時点では  
ロジックの優位性ではなく、  
直近の結果に  
判断を委ねているからです。

---

ロットを上げることで、  
次のような変化が起きます。

- 含み損の金額が、急に重く感じられる
- 少しの逆行で、気持ちが揺れる
- 早く終わらせたい意識が強くなる

その結果、

- 本来なら耐える場面で耐えられなくなる
- 冷静な判断ができなくなる
- 触らないルールを破り始める

という流れに入ります。

---

ここで重要なのは、  
ロットを上げたことで  
相場が変わったわけではない  
という点です。

変わったのは、  
自分の心理状態だけです。

IG Consolidationは、  
感情が大きく動かない前提で  
設計されています。

その前提を  
ロット変更によって  
自分で壊してしまっている  
という状態になります。

---

ロットを上げたくなった時点で、  
それは  
前向きな判断ではありません。

- 早く結果を出したい
- 今の流れを逃したくない
- もっと増やせる気がする

こうした感情が  
判断の中心に  
入り込んでいるサインです。

---

そのため、  
ロットを上げたくなった時点で、  
一度運用を止めてください。

- その感情がどこから来ているのか
- 前提は本当に守れているか
- ロットを上げる必然性があるか

これを整理できない限り、  
ロットアップは  
正解になりません。

---

ロットを上げる判断は、  
調子が良い時ではなく、  
淡々と続けられている時に  
初めて検討するものです。

それを守れないと、  
このロジックは  
簡単に壊れてしまいます。

---

## 5-4 | 「今日は休む」という判断ができない

動画内でも何度も触れられていた通り、  
このロジックは  
エントリー回数を重ねることを  
前提としています。

そのため、  
次のように感じやすくなります。

- エントリーしない日は失敗
- 休むことは機会損失

特に、  
真面目に取り組んでいる人ほど、  
この感覚に引っ張られやすくなります。

---

しかし、  
実際に負け始める人ほど、  
次のような日に  
無理に相場を見ています。

- 疲れている日
- 忙しくて集中できない日
- 判断が雑になっている日

こうした状態でのエントリーは、  
ロジックの問題ではありません。

判断をする側の  
コンディションの問題です。

---

IG Consolidationは、  
判断を減らすための設計ではありますが、  
判断をゼロにする道具ではありません。

そのため、  
人の状態が崩れている時ほど、  
結果も崩れやすくなります。

---

ここで重要なのは、  
休めない状態そのものが  
すでに危険なサインである  
という点です。

- 触らない判断ができない
- 見送る勇気がなくなっている
- エントリーしないことに不安を感じる

この状態に入っている時点で、  
運用は  
静かに崩れ始めています。

---

休むことは、  
逃げではありません。

前提を守るための  
行動です。

- 判断の精度を保つ
- ルールを破らない
- 事故を起こさない

そのために、  
あえて相場から離れる。

---

このロジックにおいて、  
何もしなかった日は  
マイナスではありません。

むしろ、  
壊れなかった日です。

この感覚を  
自分の中で  
正解として受け入れられるかどうか、  
長く続けられるかを  
大きく分けます。

---

## 5-5 | 「自分だけは大丈夫」と思い始める

最後に起きるのが、  
この状態です。

- ルールを少し変える
- 今日は例外にする
- 今回だけ特別だと考える

一つ一つは、  
小さな判断に見えます。

しかし、  
この思考が出始めた時点で、  
運用は  
別物に変わっています。

---

ここまで来ると、  
インジケーターは  
もはや判断の軸ではありません。

ただ、  
エントリーするための  
きっかけとして  
使われているだけです。

判断の中心は、  
完全に人間側へ  
戻っています。

---

この状態の怖いところは、  
本人に  
自覚がないことです。

- 今回は状況が違う
- 前より理解できている
- たまたまルールが合っていないだけ

こうした言い訳が、  
自然に出てきます。

---

しかし、  
IG Consolidationは、  
例外処理を前提に  
作られたロジックではありません。

ルールを守り続けることで  
初めて意味を持つ設計です。

一度でも  
例外を認め始めると、  
その基準は  
簡単に崩れていきます。

---

この段階に入った時点で、  
FREE版の役割は  
すでに終わっています。

それ以上使い続けても、  
学びは増えません。

むしろ、  
誤った成功体験だけが  
積み上がっていきます。

---

ここで必要なのは、  
続けることではなく、  
一度立ち止まることです。

- 運用を止める

- ルールを見直す
- 判断をリセットする

これができないまま続けると、  
結果ではなく、  
考え方そのものが  
壊れていきます。

---

## この章のまとめ

FREE版で負け始める人には、  
共通点があります。

- シグナルを雑に扱い始める
- ダマシに耐えられなくなる
- ロットで調整しようとする
- 休む判断ができなくなる
- ルールを例外扱いし始める

これらはすべて、

「人が判断しすぎている状態」

です。

FREE版が悪いのではありません。  
**FREE版**の役割を超えて使おうとしているだけです。

## 第6章 | 「今日は触らない」を決めるルール

IG Consolidationを使った運用で、  
最も重要な判断は「入るかどうか」ではありません。

それは、

「今日は触らない」と決められるかどうか  
です。

この判断ができない状態は、  
どれだけ優秀なインジケータを使っていても、  
いずれ必ず事故につながります。

---

### 6-1 | 触らない方がいい相場の特徴

まずは、  
IG Consolidation FREE版と  
相性が悪い相場を  
はっきりさせておきます。

このロジックは、  
どんな相場でも使える  
万能な道具ではありません。

使ってはいけない相場を  
明確に避けることが、  
安定運用の前提になります。

---

以下に一つでも当てはまる場合、  
その日は  
運用を見送る判断を  
優先してください。

触らない相場のチェック項目

- 相場が一方向に強く動き続けている
- 高値や安値を更新し続けている
- 明確なレンジが形成されていない
- シグナルの間隔が極端に短い、または長い

これらはすべて、  
相場に偏りが強く出ている  
サインです。

---

IG Consolidationは、  
エントリーを分散することで  
平均値を取る設計になっています。

そのため、  
相場自体が一方向に  
強く偏っている場合、  
この前提が成り立ちません。

平均を取るところか、  
エントリーを重ねるほど  
同じ方向のリスクを  
積み上げてしまう状態になります。

---

特に注意してほしいのは、  
「シグナルが出ているかどうか」  
だけで判断してしまうことです。

シグナルが出ていても、  
相場の前提が崩れていれば、  
そのシグナルは  
機能しにくくなります。

---

触らない相場を見極めることは、  
チャンスを逃す行為ではありません。

前提を守るための  
積極的な判断です。

この章では、  
「入る条件」よりも先に、  
「触らない条件」を  
明確にすることを  
目的としています。

---

この感覚を  
正しく身につけることができれば、

無駄なエントリーは  
自然と減っていきます。

---

## 6-2 | 連敗時の「強制ストップ」ルール

次に重要なのが、  
連敗したときの対応です。

IG Consolidationは、  
エントリー回数を重ねることで  
統計的な優位性を発揮する  
設計になっています。

そのため、  
一時的な連敗自体は  
想定の範囲内です。

---

しかし、  
問題になるのは  
結果ではありません。

連敗した後の  
人間の判断です。

人は連敗すると、  
次のような変化が起きます。

- 早く取り返したい気持ちが強くなる
- シグナルを見るたびに反応してしまう
- 前提確認を省略し始める

この状態に入った時点で、  
あなたは  
インジケーターではなく、  
感情でトレードを始めています。

---

そこで、  
以下の状態になったら、  
その日の運用は終了です。

- 連続して損失が出た
- 取り返したい気持ちを自覚した
- シグナルに過剰に反応している

これらは、  
「まだいける」というサインではなく、  
止まるべきサインです。

---

このルールは、  
負けを防ぐためのものではありません。

判断の崩れを  
これ以上広げないための  
安全装置です。

---

ここで大切なのは、  
連敗した日を  
失敗と捉えないことです。

前提を守ったまま  
止まれたなら、  
その日は  
役割を果たしています。

---

この章では、  
次のルールを  
明確に固定してください。

連敗したら、  
その日の運用は終了。

理由を考える必要はありません。

このルールを  
例外なく適用できるかどうか、  
長く続けられるかを  
大きく分けます。

---

## 6-3 | 仕事・家庭がある人向けの運用時間設計

IG Consolidationのロジックは、  
エントリー回数を重ねることで  
統計的な優位性を発揮する設計です。

そのため、  
すべてのシグナルを  
拾おうとすると、  
必ず無理が出ます。

- 工作中
- 家庭の時間
- 睡眠中

これらすべてを  
カバーしようとする、  
相場ではなく  
生活の方が壊れます。

---

これは、  
動画内でも触れられていた  
人間がやり続けられる限界  
の部分です。

どれだけロジックが優れていても、  
人間が無理をすれば  
必ず判断が雑になります。

---

そのため、  
運用時間は  
ルールとして  
最初に決めてください。

決めるべきルールは  
次の3つだけです。

- 相場を見る時間帯を、あらかじめ固定する
- 見られない時間帯のシグナルは無視する
- すべてを拾おうとしない

これを  
例外なく守ることが重要です。

---

特に大切なのは、  
見られなかったシグナルを  
どう捉えるかです。

拾えなかったエントリーは、  
失敗ではありません。

判断できない状態で  
入らなかっただけです。

それは、  
正しい判断です。

---

IG Consolidationは、  
すべてを取ることで  
成立するロジックではありません。

前提を守れる範囲で  
淡々と積み上げることで  
意味を持ちます。

---

生活を犠牲にして  
エントリー回数を増やしても、  
結果は安定しません。

むしろ、

- 判断が雑になる
- 触らないルールが崩れる
- 連敗時に止まれなくなる

という悪循環に  
入りやすくなります。

---

このロジックで  
最優先すべきなのは、  
相場ではなく  
自分の生活です。

続けられる時間だけを見る。

それ以外は  
最初から捨てる。

この割り切りができた人だけが、  
長く運用を続けられます。

---

## 6-4 | 相場を見ない日を作る意味

多くの方が誤解しやすいのですが、  
相場を見ない日を作ることは、  
機会損失ではありません。

IG Consolidationのロジックでは、  
エントリー回数を  
短期で積み上げることよりも、  
長期で積み重ねていくことが  
重要になります。

---

そのため、  
1日や2日  
エントリーしなかったとしても、  
統計的な優位性が  
崩れることはありません。

むしろ、  
無理に相場を見続ける方が、  
前提を崩すリスクは  
高くなります。

---

特に、  
次のような日は  
あらかじめ  
触らない判断をしてください。

- 疲れている日
- 忙しくて集中できない日
- 判断が雑になりそうな日

こうした状態でのトレードは、  
結果に関係なく、  
事故につながりやすくなります。

---

相場を見ない日は、  
休んでいるわけではありません。

判断の精度を保つための  
準備期間です。

- ルールを守る
- 感情を持ち込まない
- 無理なエントリーをしない

これらを守るために、  
あえて  
相場から距離を取ります。

---

IG Consolidationにおいて、  
最も避けるべきなのは、  
一度の負けではありません。

疲れた状態で  
判断を続けてしまい、  
大きなミスを重ねることです。

---

相場を見ない日を  
戦略として持てるようになると、

運用は  
一段階安定します。

見ない勇気を  
ルールとして  
持ってください。

---

## 6-5 | この章の本当の目的

ここまで読んで、  
こう感じた方もいるかもしれません。

結局、  
人がやり続けるのは無理なのでは。

その感覚は、  
正しい理解です。

---

動画の最終日でも語られていた通り、  
このロジックの最大の弱点は、  
エントリーを継続し続けなければならないこと  
にあります。

ロジックとして成立していても、  
人間がその前提を  
生活の中で守り続けるのは、  
現実的に難しい。

それが、  
このロジックの本質的な課題です。

---

ただし、  
この事実気づくことは  
失敗ではありません。

むしろ、  
正しく理解できている証拠です。

無理をしないと続けられない状態は、  
いずれ判断を崩し、  
事故につながります。

---

この章の目的は、  
無理に裁量で続けさせることではありません。

- 触らない判断を正解として固定する
- 人間の限界を、前提として認める
- 次の選択肢を、冷静に考えられる状態を作る

そのための章です。

---

ここで整理してきた  
触らないルールは、  
勝つための工夫ではありません。

壊れないための設計です。

そして、  
壊れない状態を作れた人だけが、  
次に進む必要があるかどうかを  
落ち着いて判断できます。

---

この章を読み終えた段階で、  
あなたが持っていれば十分な結論は  
次の二つです。

- 無理をして続ける必要はない
- 触らない判断は正しい判断である

この二つが  
自分の中に定着したなら、  
第6章は役割を果たしています。

---

## この章のまとめ

- 触らない相場は、あらかじめ決めておく

- 連敗した日は、強制終了
- 見られない時間は、最初から捨てる
- 相場を見ない日は、事故防止の日

このルールを守れる人だけが、  
次の選択肢に進む準備が整います。

# 第7章 | 週1でやる最低限の振り返り方法

IG Consolidationの運用において、  
毎日の振り返りは必要ありません。

むしろ、  
細かく振り返ろうとするほど、

- 感情が入る
- 判断がブレる
- 余計な修正をしたくなる

という状態に陥りやすくなります。

この章では、  
週に1回だけ行う、最低限の振り返り方法を整理します。

---

## 7-1 | 見る数字は「これだけ」

振り返りで確認するのは、  
たくさんの指標ではありません。

むしろ、  
見すぎることで  
判断がブレてしまう人の方が  
圧倒的に多いです。

---

このロジックにおいて、  
週1回の振り返りで  
確認するのは、  
次の3点だけにしてください。

- 大きなドロダウンが出ていないか
- ロットを勝手に変えていないか
- ルール外のエントリーが増えていないか

これ以外は、  
今の段階では  
見る必要はありません。

---

特に注意してほしいのは、  
勝率や連勝回数、  
短期的な損益です。

これらの数字は、  
感情を動かす力が強すぎます。

- 勝っていれば安心する
- 負けていれば不安になる
- 数字に理由を求め始める

この状態に入ると、  
振り返りではなく、  
言い訳探しに変わってしまいます。

---

IG Consolidationの運用で  
最優先すべきなのは、  
結果ではありません。

前提が守られているかどうかです。

- 大きく崩れていないか
- ルールからズレていないか
- 感情で触り始めていないか

この3点だけを  
淡々と確認してください。

---

もし、  
この3つすべてに  
問題がなければ、  
その週の運用は  
合格です。

損益がどうであれ、  
前提を守れているなら、  
修正する必要はありません。

---

この章で伝えたいのは、  
振り返りを  
反省会にしない  
ということです。

壊れていないかだけを  
確認する。

それが、  
週1の振り返りに  
求められる役割です。

---

## 7-2 | 勝敗より見るべきポイント

このロジックにおいて、  
最も重要なのは、  
勝ったかどうかではありません。

短期的な勝敗は、  
相場のノイズに  
大きく左右されます。

その数字だけを見ても、  
次の判断は  
安定しません。

---

振り返りで確認すべきなのは、  
次の3点です。

- 想定外の相場で無理に触っていなかったか
- 触らないルールを守っていたか
- 迷ったときに、きちんと止まれたか

これらはすべて、  
結果ではなく  
行動に関する項目です。

---

IG Consolidationは、  
一回のトレードで  
優劣が決まるロジックではありません。

前提を守った行動を  
積み重ねることで、  
意味を持つ設計です。

そのため、  
行動が正しければ、  
結果が一時的に悪くても  
問題ありません。

---

逆に、  
結果が良かったとしても、  
前提を外した行動が  
増えているなら、  
それは危険なサインです。

- 偶然うまくいった
- 判断を省略していた
- 感情で動いていた

こうした成功体験は、  
後から必ず  
ズレを生みます。

---

振り返りでは、  
うまくいった理由や  
負けた原因を  
深掘りする必要はありません。

それよりも、  
前提を守れていたかどうか。

この一点だけを  
淡々と確認してください。

---

この章で身につけてほしいのは、  
結果で一喜一憂しない  
視点です。

行動が守れていれば、  
その週の運用は  
合格です。

---

### 7-3 | 記録を取らなくてもOKな理由

振り返りという言葉から、  
トレードノートや  
細かい記録を  
想像する人も多いかもしれません。

しかし、  
IG Consolidationの運用では、  
詳細な記録は  
必須ではありません。

---

その理由は、  
このロジックの構造にあります。

- エントリー回数が多い
- 平均値で積み上げる設計
- 個々のトレードの意味が小さい

このような設計では、  
一回一回のトレードを  
細かく分析しても、  
大きな改善にはつながりません。

---

むしろ、  
記録を取ろうとすることで、  
次のような問題が起きやすくなります。

- 勝ち負けに意識が向きすぎる
- 結果の理由を探し始める
- ルールを後付けで正当化する

こうなると、  
振り返りの目的が  
ずれてしまいます。

---

IG Consolidationにおける  
振り返りの目的は、  
上達することではありません。

壊れていないかを  
確認することです。

---

そのため、  
確認するのは  
次の一点だけで十分です。

異常が起きていないか。

- 大きなドロダウンが出ていないか
- ロットを崩していないか
- ルール外の行動が増えていないか

これが問題なければ、  
詳細な記録は  
必要ありません。

---

記録を取らないことは、  
手抜きではありません。

このロジックに  
合った管理方法です。

続けることを  
難しくしないための  
選択です。

---

この章で伝えたかったのは、  
完璧な管理ではなく、  
続けられる管理を  
優先するという考え方です。

---

## 7-4 | 「順調かどうか」の判断基準

では、  
どのような状態であれば、  
順調と判断してよいのでしょうか。

基準は、  
非常にシンプルです。

---

次の状態が保たれていれば、  
結果に関係なく、  
運用は順調です。

- 不安が以前より増えていない
- 相場を見すぎている
- ルールを破りたくなっていない

これらはすべて、  
資金ではなく  
自分の状態を示す指標です。

---

IG Consolidationにおいて、  
短期的な損益は  
安定の判断材料になりません。

むしろ、  
精神状態の変化の方が、  
早く異常を知らせてくれます。

- 焦りが出てきていないか

- 無理にエントリーしたくないか
- 見なくていい相場を見ていないか

これらが  
増えていないなら、  
前提は守れています。

---

逆に、  
損益が出ていても、

- 常に相場を気にしている
- エントリーしないと落ち着かない
- ルールを例外扱いしたくなっている

この状態に入っているなら、  
運用は  
順調とは言えません。

---

この章で伝えたかったのは、  
順調かどうかは  
数字ではなく、  
行動と感覚で判断する  
ということです。

この基準を  
週1で確認できていれば、  
大きく崩れる前に  
必ず気づけます。

---

## 7-5 | この章の本当の目的

この章の目的は、  
反省でも、  
改善でもありません。

やるべきことは、  
ただ一つです。

この運用を、  
まだ続けて大丈夫かどうか

それを確認することです。

---

振り返りをしていて、  
次のように感じるようになったら、  
注意が必要です。

- 振り返るたびに不安が増える
- 数字ばかりが気になる
- 触らない判断ができなくなっている

これらは、  
やり方が悪いサインではありません。

無理が出始めているサインです。

---

IG Consolidationの運用は、  
正しく行っても、  
精神的な負荷が  
ゼロになるわけではありません。

その負荷が、  
自分の中で  
許容範囲を超え始めたとき、  
判断は必ず崩れます。

---

この章でやってほしいのは、  
自分を追い込むのではなく、  
自分の状態を  
客観的に確認することです。

もし、  
続けることで  
不安が増えているなら、  
それは  
立ち止まるサインです。

---

立ち止まることは、  
失敗ではありません。

壊れる前に  
止まれたという意味で、  
正しい判断です。

---

この章を通して、  
週1回、  
自分にこう問いかけてください。

今の自分は、  
この運用を  
無理なく続けられているか。

その問いに  
正直に答えられている限り、  
この運用は  
正しい方向にあります。

---

## この章のまとめ

- 振り返りは週1回で十分
- 見るのは異常の有無だけ
- 勝敗は評価しない
- 不安が増えていなければOK

「振り返りは、  
攻めるためではなく、  
壊れていないかを確認するため」

これが、  
IG Consolidation運用における  
振り返りの考え方です。

# 第8章 | FREE版の限界と次の選択肢

この章では、

\*\*IG Consolidation FREE版で「できること」と「できないこと」\*\*を整理します。

大切なのは、

FREE版が劣っているという話ではありません。

役割が違うというだけです。

---

## 8-1 | なぜFREE版では「判断」が残るのか

IG Consolidation FREE版は、

相場の傾向を整理し、

有利になりやすい可能性のあるポイントを

分かりやすく示すための

インジケーターです。

しかし、

FREE版は

すべてを自動化する道具ではありません。

---

FREE版が行わないことは、

はっきり決まっています。

- エントリーの自動実行
- すべての時間帯をカバーする運用
- 感情や体調を考慮した制御

これらは、

あえて搭載されていません。

---

その結果、

最終的に必ず残るのが、

人が判断する工程です。

- 今は触る相場か
- 今はやらない時間ではないか

- 自分の状態は崩れていないか

これらを決めるのは、  
常に人間側になります。

---

この点を、  
欠点だと感じる人もいるかもしれません。

しかし、  
それは誤解です。

FREE版に判断が残るのは、  
設計ミスではなく、  
設計思想そのものだからです。

---

FREE版は、  
考えずに使わせるための道具ではありません。

- 相場を理解する
- 前提を意識する
- 判断の質を上げる

そのための  
学習用・整理用の位置づけとして  
作られています。

---

この段階で  
判断が残ることに  
違和感を覚えているなら、  
それは  
正しく使えている証拠でもあります。

---

## 8-2 | FREE版でブレやすくなる理由

FREE版で運用を続けていると、  
多くの人が  
同じ壁にぶつかります。

- シグナルは出ているのに、見られない
- 見たときには、すでに動いている
- 忙しい日ほど、判断が雑になる

これらは、  
使い方が間違っているから  
起きているわけではありません。

---

動画内でも触れられていた通り、  
このロジックの最大の課題は、  
エントリーを継続し続けなければならない  
という点にあります。

ロジック自体が  
間違っているのではなく、  
人間側に  
負荷が集中する構造になっています。

---

人間は、  
24時間、  
同じ精度で判断し続けることは  
できません。

- 仕事がある
- 家庭の用事がある
- 体調や気分に変化がある

これらは、  
避けられない前提です。

---

そのため、  
FREE版での運用は、  
どうしても  
次のようなズレが生まれます。

- 見られる時と見られない時の差
- 判断の精度のばらつき
- 触らないルールが守れない瞬間

これらが積み重なることで、  
運用は  
少しずつブレていきます。

---

ここで重要なのは、  
ブレること自体が  
悪いのではない  
という点です。

ブレるのは、  
人間が運用している以上、  
自然な現象です。

---

FREE版の限界とは、  
精度の問題ではありません。

人間の限界が  
そのまま  
ロジックに影響してしまう点にあります。

---

この事実を  
受け入れられたとき、  
次の選択肢を  
冷静に考える準備が整います。

---

ここからは、  
FREE版を使ってきた中で、  
何が一番つらかったかによって、  
次の選択肢が変わります。

正解は一つではありません。

今の自分に合う形を  
選ぶことが重要です。

---

## 選択肢① | ルールを完全に固定する

判断がブレる原因が  
自分の裁量にあると感じた場合は、  
まずこの選択肢があります。

- 相場を見る時間帯を、あらかじめ限定する
- 触らない条件を、明文化して増やす
- エントリー回数を、意図的に減らす

この方法では、  
裁量は残りますが、  
判断する場面を  
大幅に減らすことができます。

向いているのは、  
相場を見る時間は確保できるが、  
事故を減らしたい人です。

---

## 選択肢② | 半自動にする

判断そのものが  
負担になり始めた場合は、  
半自動という選択肢があります。

- シグナル通知を活用する
- 事前に決めた条件だけ対応する
- 判断ポイントを最小限に絞る

この方法では、  
相場を常に監視する必要がなくなり、  
精神的な負担が  
かなり軽くなります。

向いているのは、  
すべてを裁量でやるのは無理だが、  
完全自動にはまだ抵抗がある人です。

---

### 選択肢③ | 自動売買を使う

人が判断し続けること自体に  
限界を感じた場合は、  
この選択肢があります。

- エントリーをすべて自動化する
- 人間の判断を介さない
- 見られない時間帯も含めて運用する

これは、  
楽をするための選択肢ではありません。

人間の限界を  
前提に組まれた  
運用方法です。

向いているのは、  
判断の質を保ち続けることよりも、  
仕組みに任せたい人です。

---

ここで大切なのは、  
どれを選んだとしても、  
FREE版で学んだ前提が  
無駄になることはない  
という点です。

- 触らない判断
- 相場を選ぶ意識
- 無理をしない設計

これらは、  
どの選択肢に進んでも  
土台として生き続けます。

---

この章の目的は、  
次に進ませることではありません。

今の自分にとって、  
無理のない形を  
冷静に選べる状態を  
作ることです。

---

## 8-4 | 自動売買は「上位互換」ではない

ここは重要なので、  
はっきり書いておきます。

自動売買は、  
**FREE版の上位互換ではありません。**

FREE版を使えなかった人が  
自動売買に進めば  
すべて解決する、  
という話でもありません。

---

自動売買には、  
向いている人と  
向いていない人がいます。

それは、  
能力の差ではなく、  
求めているものの違いです。

---

自動売買の目的は、  
勝率を上げることではありません。

判断を減らすことです。

- 相場を見る時間を減らす
- 判断のブレをなくす
- 感情を介さない運用にする

この点に  
価値を感じるかどうか、  
分かれ目です。

---

一方で、  
次のような人には  
自動売買は向きません。

- 自分で判断したい
- 相場を見ていたい
- 介入できないことに不安を感じる

このタイプの人  
無理に自動化すると、  
かえって  
ストレスが増えます。

---

また、  
自動売買は  
楽をするための道具ではありません。

人間の限界を  
前提として設計された  
運用方法です。

裁量を手放す代わりに、  
仕組みを信じて  
任せ続ける必要があります。

---

FREE版と自動売買は、  
優劣の関係ではありません。

役割が違います。

- FREE版は、理解と判断のための道具
- 自動売買は、判断を減らすための仕組み

この違いを  
正しく理解していないと、

次の選択で  
必ず迷います。

---

この章で伝えたいのは、  
自動売買に進むことが  
正解なのではなく、  
自分に合わない選択を  
しないことが正解だ  
ということです。

---

## 8-5 | どの段階で次に進むべきか

次のようなサインが出始めたら、  
次の選択肢を  
検討するタイミングです。

- 触らないルールを守れなくなった
- エントリーを取り逃がすことが増えた
- 判断そのものに疲れを感じるようになった

これらは、  
失敗のサインではありません。

---

ここで重要なのは、  
これが  
あなたの実力不足ではない  
という点です。

FREE版を  
正しく使ってきたからこそ、  
見えてきた限界です。

---

相場を選び、  
触らない判断をし、  
前提を守り続ける。

これを  
人の判断で  
長期間続けること自体が、  
そもそも難しい。

その事実  
気づけた時点で、  
理解は十分に進んでいます。

---

次に進むという判断は、  
逃げでも、  
諦めでもありません。

現実的な整理です。

- 無理を続けない
- 判断を減らす
- 壊れない形に移行する

この方向へ進むための  
判断です。

---

ここまで来たら、  
自分にこう問いかけてください。

この運用を、  
今の生活のままで  
続けられるか

この問いに  
少しでも迷いがあるなら、  
選択肢を見直す  
十分な理由になります。

---

この章で伝えたかったのは、  
次に進むことが正解なのではなく、  
無理を続けないことが正解だ  
という考え方です。

---

## この章のまとめ

- FREE版は「判断補助」の道具
- 判断が残るのは設計通り
- 人間が続けるには限界がある
- 次の選択肢は「楽をするため」ではない

「壊さないために、  
どこまで人がやり、  
どこから仕組みに任せるか」

それを整理するのが、  
この章の役割です。

# 第9章 | 自動売買はどんな人向けか？

この章では、  
IG Consolidationの自動売買について説明します。

ただし最初に、  
大切なことをはっきり書いておきます。

自動売買は、  
誰にでも勧めるものではありません。

FREE版を正しく使った人だけが、  
冷静に検討するための選択肢です。

---

## 9-1 | 自動売買の本当の役割

多くの人が誤解していますが、  
自動売買の目的は、

- 勝率を上げること
- 利益を急激に増やすこと

ではありません。

自動売買の役割は、  
「人がやらなくていい部分を仕組みに任せること」  
です。

- 見られない時間
- 疲れている時間
- 判断がブレやすい時間

これらを  
無理に人がカバーしなくていい状態を作ります。

---

## 9-2 | 自動売買が向いている人

以下に当てはまる人は、  
自動売買を検討する価値があります。

### 向いている人

- FREE版のルールを守ろうとして、疲れた人
- 触らない判断が難しくなってきた人
- 仕事や家庭で相場を見られない時間が多い人
- 「人間が続けるのは限界だ」と感じ始めた人

これらは、  
能力不足ではありません。

FREE版を  
正しく使った結果、  
限界が見えただけです。

---

## 9-3 | 自動売買が向いていない人

次に、  
自動売買が  
向いている人の特徴を  
整理します。

以下に当てはまる場合、  
自動売買を  
検討する価値があります。

---

### 向いている人の特徴

- FREE版のルールを守ろうとして、疲れを感じるようになった
  - 触らない判断が、以前より難しくなってきた
  - 仕事や家庭の都合で、相場を見られない時間が多い
  - 人間が判断し続けるのは限界だと感じ始めた
-

これらは、  
能力不足を示すものではありません。

むしろ、  
FREE版を  
正しく使ってきたからこそ  
見えてきた感覚です。

---

相場を選び、  
触らない判断をし、  
前提を守り続ける。

これを  
人の判断だけで  
長期間続けるのは、  
簡単なことではありません。

その難しさに  
気づけた時点で、  
理解は十分に進んでいます。

---

自動売買は、  
できない人のための  
逃げ道ではありません。

無理を続けないための  
現実的な選択肢です。

---

もし今、  
FREE版の運用を  
続けようとするほど  
負担が増えているなら、  
それは  
次を検討していい  
タイミングです。

---

## 9-4 | 裁量運用との違い

ここで、  
裁量運用(FREE版)と  
自動売買の違いを  
整理しておきます。

これは、  
どちらが優れているか  
という話ではありません。

役割の違いです。

---

まず、  
FREE版を使った裁量運用です。

FREE版(裁量運用)

- 相場の判断は、人が行う
- 相場を見られる時間だけ対応する
- 触らない判断も、人の判断に委ねられる

この運用では、  
相場理解や判断力が  
そのまま結果に影響します。

自分で考え、  
自分で止まれる人にとっては、  
納得感の高い運用方法です。

---

次に、  
自動売買です。

自動売買運用

- 判断を、あらかじめ決めた仕組みに固定する
- 見られない時間帯も含めて運用する
- 感情が介入する余地を減らす

この運用では、  
判断の質よりも、

判断をしないことが  
安定につながります。

---

重要なのは、  
どちらが上かではありません。

- どこまでを人がやるのか
- どこからを仕組みに任せるのか

この線引きの違いだけです。

---

裁量運用は、  
判断する自由がある代わりに、  
判断し続ける負荷があります。

自動売買は、  
自由度を減らす代わりに、  
判断の負荷を減らします。

---

どちらが正しいかは、  
人によって異なります。

今の自分が、  
判断を続けたいのか、  
判断を減らしたいのか。

その視点で選ぶことが、  
最も重要です。

---

## 9-5 | 自動売買に進む前の最終チェック

最後に、  
自動売買を検討する前に、  
必ず自分に問いかけてください。

焦って答える必要はありません。

落ち着いた状態で、  
正直に考えてみてください。

---

次の問いに、  
無理なく答えられるでしょうか。

- **FREE**版のルールを、守ろうと本気で取り組んだか
  - 触らない判断を、正解として受け入れられたか
  - 楽にしたいからではなく、壊さないために必要だと感じているか
- 

この問いに、  
感情ではなく、  
事実として答えられる状態であれば、  
自動売買は  
一つの選択肢になります。

---

ここで大切なのは、  
進むこと自体を  
正当化しないことです。

誰かに勧められたから、  
不安だから、  
楽そうだから。

こうした理由で進むと、  
次の段階でも  
必ず迷います。

---

自動売買は、  
問題を解決する道具ではありません。

人間の限界を  
受け入れた上で、  
運用を壊さないための  
仕組みです。

---

この章で伝えたかったのは、  
自動売買が正解なのではなく、  
無理を続けない選択が正解だ  
という考え方です。

---

## この章のまとめ

- 自動売買は上位互換ではない
- 人間の限界を前提にした仕組み
- 向いていない人も多い
- FREE版を正しく使った人向けの選択肢

「勝つために使う」のではなく、  
「壊さないために任せる」

これが、  
自動売買の立ち位置です。

## 最終章 | この教科書を読み終えたあなたへ

ここまで、この教科書を読み進めていただき、  
ありがとうございます。

この教科書では、  
勝ち方については、ほとんど触れてきませんでした。

その代わりに、

- やらない判断
- 触らないルール
- 判断がブレる兆候
- FREE版の役割と限界

こうした  
「壊れないための前提」を整理してきました。

---

## FREE版で続けるという選択について

この教科書を読み終えたうえで、  
FREE版のまま運用を続ける  
という選択は、まったく問題ありません。

むしろ、

- ルールを守れる
- 触らない判断ができる
- 判断に振り回されなくなった

この状態であれば、  
FREE版は  
十分に役割を果たしていると言えます。

大切なのは、  
「次に進むこと」ではなく、  
今の運用が壊れていないことです。

---

## 自動売買に進むという選択について

一方で、  
この教科書を読んで、

- 人が続けるのは現実的ではない
- 判断が負担になってきた
- 見られない時間が増えている

そう感じた場合、  
それは失敗ではありません。

FREE版を  
正しく使った結果、  
限界に気づいただけです。

自動売買は、  
勝つための近道ではありません。

壊さないために、  
判断を仕組みに任せる

そのための、  
一つの選択肢です。

---

## 焦らないことが、一番の勝ち方

相場を続けていると、  
どうしても  
「早く結果を出したい」  
「置いていかれたくない」  
という気持ちが出てきます。

ですが、  
この教科書で何度も触れてきた通り、

- 焦った判断
- 例外の追加
- 無理な継続

これらは、  
すべて事故につながる入口です。

一歩立ち止まり、  
この教科書に戻ってこられる状態こそが、  
一番強い状態です。

---

## 最後に

IG Consolidationは、  
相場を当てるための道具ではありません。

そして、  
この教科書も、  
あなたを勝たせるための本ではありません。

---

ここまでまとめてきたのは、

- 続けられる状態を作ること
- 壊れる前に止まれること

そのための  
判断軸です。

---

相場を続けていると、  
どうしても、

- 迷う瞬間
- 不安になる瞬間
- 判断が揺れる瞬間

が訪れます。

それは、  
特別なことではありません。

---

そんなときに、  
もう一度立ち戻る場所として、  
この教科書を使ってください。

今の判断は、  
無理をしていないか。

前提は、  
崩れていないか。

---

この教科書は、  
読むための本ではなく、  
確認するための道具です。

必要なときに、  
必要な章だけを開いて、  
何度でも使ってください。

---

焦らず、  
壊さず、  
続けられる形を選ぶこと。

それが、  
IG Consolidationというロジックにおいて、  
一番大切な考え方です。